

平成24年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	緊急通報システム事業			基本目標	地域支援体制の充実		
担当課(局)・係	健康福祉課	介護高齢者福祉係	記入者	浜野智子	評価者	河野辰己	開始年度 H19 年度

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	対象(誰を・何を)	単身高齢者への支援											
	意図・目的	高齢者世帯等の安全確保と不安解消											
事業の内容	概ね65歳以上の高齢者のみの世帯及び身体障がい者のみの世帯等で対象者の現況等を勘案し、課税状況に応じて緊急通報装置を貸与												
23年度決算額		347	千円	24年度予算額		623	千円	事業従事者数	H23 0.10	人	H24 0.10	人	
主な支出項目	委託料	347	千円	財源内訳	国庫支出金		千円	23年度人件費	714			千円	
			千円		県支出金		千円	24年度人件費	714			千円	
			千円		地方債		千円	24年度予算額における一般財源の割合(H24)		100.0	%		
			千円		一般財源	623	千円	根拠法令・要綱等があれば記載してください					
			千円				千円	高鍋町緊急通報システム事業実施要綱					
町の補助事業	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 町単独補助 <input type="checkbox"/> 国県補助			補助事業名		-							
	補助交付団体			補助金要綱		-							
	23年度	補助額	-	千円	補助の形態	-	H24年度補助額	-	千円	終期	-	年度	
		団体の決算額	-	千円	H23年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等								
		補助の割合	-	%									
繰越額		-	千円										

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	1 設置者数	委託事業者からの定期的な安否確認が行われることにより、生活の不安が解消された。
	2 緊急通報件数	一人暮らしの高齢者の急変を関係者に知らせることができた。
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	1 民生委員会での広報	民生委員にシステムの説明・対象者の周知・把握
	2	
	3	

◎達成状況

指標名		単位	22年度	23年度	24年度
成果指標	設置者数	目標値	33	33	33
		実績値	23	25	
		達成率	69.7%	75.8%	
	緊急通報件数	目標値	1	1	1
		実績値	1	1	
		達成率	100.0%	100.0%	
活動指標	民生委員会での広報	目標値	1	1	1
		実績値	1	1	
		達成率	100.0%	100.0%	
		目標値			
		実績値			
		達成率			

事務事業名	緊急通報システム事業	担当課(局)	健康福祉課
-------	------------	--------	-------

◎事務事業の評価

	担当者記入欄	評価する項目	点数
			自己評価
(必要性)	高齢者等の安全確保や不安解消に関する事業は町が主体となるべきであり、収入の少ない高齢者等に対しては、一定の補助が必要である。	◎目的からして町が行うべきか	2
		◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか	2
		◎社会情勢(住民ニーズ)に適応しているか	2
		◎事業廃止による影響があるのか	2
有効性	フリーダイヤルでの緊急通報や健康相談が可能で、事故や詐欺被害を未然に防止できる。	◎目標に対して成果は得られているか	2
		◎すでに目的は達成されていないか	1
効率性	緊急通報により早期に対処できている。経費についても妥当な金額である。	◎活動量の効果は実際に上がっているか	2
		◎費用対効果が十分に認められるか	2
協働性	民生委員・近隣住民等が協力員として対象者を総合的にサポートする。	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	1
合計(最高18点)			16

※町補助をしている場合のみ記入

(公平性)		◎公益性が高いか ※公益性:不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与していること	-
		◎行政では対応できない部分を、補助事業がカバーしているか	-
		◎町民の理解が得られる事業であるか	-
合計(最高4点)			-
その他			

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	担当者の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	今後の方向性	今後の方向性			
			拡充	維持	縮小	廃止
総合評価	◎担当者の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	高齢者の一人暮らしや高齢者世帯の日常的な安全確保等に有効な手段であり、今後も設置促進を図りたい。	○			
			廃止	縮小	維持	拡充
			コスト			

◎事務事業評価委員の意見等

<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者等の安全確保の考え方から、必要と考える。 ・これからの高齢化社会に必要である。 ・介護保険事業で取り組めるシステムへ切り替える対応を急ぐべきである。 ・単身高齢者の安全確保策は必要であり、補助事業等を活用しての導入促進は有効と考える。 	◎今後の方向性	
	事務事業評価委員会	
	判定	維持
	外部評価委員会	
	判定	答申書参照